



めざせ! One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.3-2
令和7年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪府中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06)6946-5390
FAX (06)6946-5391



大阪維新の会 大阪府議会議員 **山本真吾** の府政報告

**11月定例会の本会議で
一般質問**

府民の皆様の切実な声を届けるべく、本会議にて「地域活性化」「子育て支援」「秩序ある共生社会」の3点について質問を行いました。



府政に関するお問い合わせは

やまもと

山本 しんご事務所まで

〒580-0013

山本しんご事務所が下記に移転しました。

松原市丹南3丁目9番6号

TEL・FAX (072)338-8880



YouTube

維新府議団ちゃんねる

検索

維新府議団は
議会活動を
YouTubeで動画発信



山本真吾の本会議一般質問 (令和7年11月定例会 12月11日)

旧南大阪食肉市場跡地の活用はどうなりますか?

質問 松原市河合地区の旧南大阪食肉市場跡地は、平成14年の公社廃止、令和3年の民間会社破産を経て、長年未活用のままでした。私は地域の活性化のため、早期の事業者誘致を長年強く要望してきました。現在の進捗と今後のスケジュールを問います。

環境農林水産部長 答弁 地元松原市と検討を重ね、隣接する財産区のため池と一体活用することで公募を実施し、本年3月末、大阪狭山市に本社を置く自動車部品製造業者を事業予定者に決定しました。令和8年末の地区計画策定、議決を経て土地を売却し、令和14年夏の事業開始を目指します。

要望 ようやく動いた長年の懸案事項です。府は最後まで責任を持ち、松原市や事業者と連携して周辺環境の整備を含め、着実に事業を完遂するよう強く求めました。



市町村の子育て施策への支援拡充は?

質問 少子化対策は待ったなしの課題です。地域の実情に応じた「切れ目のない支援」を行う市町村の財源確保は極めて重要です。現在、府が実施している「新子育て支援交付金」のさらなる拡充と、市町村が使いやすい制度への見直しを求めますが、見解は?

福祉部長 答弁 市町村のバックアップは重要です。今年度、活用メニューの精査を行い、少子化や子育て世帯を取り巻く課題に柔軟に対応できるよう、より活用しやすい交付金へと見直しを図ってまいります。

要望 「見直し」との前向きな答弁を評価します。市町村が安心して施策を実行できるよう、現在約30億円の予算規模をさらに増額し、支援の輪を広げるよう強く要望しました。

外国人との「秩序ある共生社会」をどう実現しますか?

質問 一部の外国人によるルール逸脱に毅然と対応し、府民の不安を解消する「秩序ある共生社会」が必要です。しかし現状、府庁内では担当部署が不明瞭で、たらい回しにされる実態があります。責任を持って施策を一元的に把握する窓口を明確化すべきではないでしょうか。

府民文化部長 答弁 一部の迷惑行為は承知しており、国籍を問わず認め合い、安心して暮らせる社会づくりが重要です。国の動向を注視しながら、「大阪府在日外国人施策に関する指針」の改正検討も含め、しっかりと取り組んでまいります。

要望 (問題提起) 窓口の明確化について、踏み込んだ答弁が得られなかったことは非常に残念です。複数の部署が「担当外」と主張する現状では、府民の安心は守れません。私は「ルールを守る外国人は守り、ルールを守らない者には毅然と対応する」という秩序を求めています。国の方向性を踏まえ、一元管理する部署の設置を強く求めています。

結びに 松原市の活性化、子育て世代への投資、そしてルールに基づいた安心な社会づくり。これらはすべて、次世代に責任ある大阪を引き継ぐための挑戦です。これからも、現場の声を力に、スピード感を持って府政を突き動かしてまいります!

大阪維新の会大阪府議会議員 山本真吾の府政報告

高見学園通り交差点の白線の引き直し

松原市・大阪府・大阪府警が連携し、
本年1月に施行完成しました。

毎日多くの方が利用する高見学園通り交差点において、「横断歩道や停止線の白線が経年劣化で薄く見えづらい、車線や右折矢印等を引き直して欲しい」との要望が令和7年6月3日、松原市みち・みどり整備課より大阪府富田林土木事務所へ寄せられました。富田林土木事務所は速やかに現地確認を行い、松原警察と連携のうえ、業者公募入札など必要な手続きを進め、令和8年1月頃の施工予定計画を立てました。令和8年2月初旬に予定通り白線補修工事を完了いたしました。

この件について、令和7年12月3日の松原市議会において、「大阪府も松原市も工事を進めようとしていない」との趣旨の質問がありましたが、これは事実とは異なります。

本件については、松原市・大阪府・大阪府警が十分に連携し、適切な段取りの下で着実に準備を進めてまいりました。その結果、当初の予定通り1月に施工を完了しております。

白線がくっきりと見えるようになったことで、ドライバーへの注意喚起につながり、歩行者の安心感も高まっています。今後も現場に足を運び、皆さまの声を力に、一つひとつ丁寧に改善を重ねてまいります。



4月開校「高見の里小学校」
通学路の信号設置

「開校に間に合わせたい」その願いが、
一歩早く形になりました。

統合により新たに開校する高見の里小学校。子供たちが4月の開校時から安全に通学できるよう、私たちは通学路の整備を急ピッチで進めてまいりました。

当初、大阪府警察本部からの回答は「設置は7月」というものでした。しかし、4月の開校に間に合わなければ、子供たちは数ヶ月間、危険な状態で登校することになってしまいます。「子供たちの命に関わることに、妥協は許されない」。

その一心で松原市選出府議会議員として大阪府警察本部へ粘り強く働きかけ、必要性を訴え続けた結果、大幅な前倒しが決定!2月26日より、待望の信号機が運用開始される運びとなりました。

新しい校舎へ向かう子供たちの笑顔が、事故のない安全な道で守られるように。これからも、皆様の声に「スピード感」をもって応えてまいります。



大阪維新の会 大阪府議会議員団の府政報告

吉村知事「副首都構想」実現に備え

国との合同庁舎整備

GPIF大阪本社誘致の意向示す!

吉村洋文知事は、11月定例会の維新府議の一般質問で、災害時に首都機能をバックアップする「副首都」の実現に備え、大阪府庁本館西側への副首都合同庁舎の整備とGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の本社機能大阪誘致の意向を表明しました。



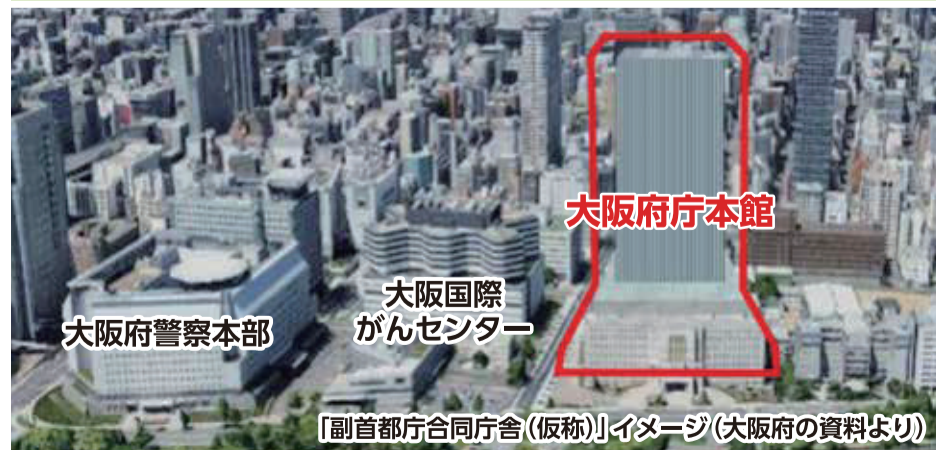
答弁する吉村知事

維新府議の一般質問で知事が表明 (12月12日)

維新府議：大手前地区の府有地を活用し、災害時に政府機能を移転できる「首都機能バックアップ拠点」として、国と府が共同で新たな合同庁舎を整備すべき。

吉村洋文知事：「国と府の合築による合同庁舎を建設する」とのご提案は、副首都をめざす大阪という観点や、国と府の施策連携の観点から、大変、意義深く、私自身の腹にもストンと落ちる案。国や与党と連携し実現に向け力を注ぐ。

副首都大阪のランドマークとなる国・府の合築合同庁舎



【副首都庁合同庁舎(仮称)】イメージ(大阪府の資料より)

GPIF本社機能の大阪誘致

維新府議：国際金融都市の基盤強化の観点から、財務省の外国為替特別会計やGPIFといった巨額資金を運用する機関に東京以外のバックアップがない。GPIF本社機能を大阪に誘致できれば有意義である。

吉村洋文知事：本社機能を大阪に置くことは金融人材や資産運用機能の分散につながり、国際金融都市OSAKAの強化に有効。戦略のアクションプランに盛り込み国に働きかける。また、副首都関連の国への要望の中にGPIF誘致を位置づけ、政府・与党で議論していく。

国内主要金融機関の運用資産総額

政府系運用機関は巨額資産を運用する一方で、副首都におけるバックアップ体制は未整備のまま東京一極で管理されており、首都圏災害時に運用継続のリスクが高い。

	政府系運用機関		準公的運用機関		民間運用機関
	外国為替特別会計	GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)	ゆうちょ銀行	かんぽ生命	日本生命
管理主体	日本政府(財務省)	日本政府(厚生労働省)	日本郵政(政府が一部株主)	日本郵政(政府が一部株主)	日本生命保険(株)
BCP拠点の有無	明記なし	運用機関は明記なし/資産管理機関はあり	あり※1	あり※1	あり※1
23年度運用資産総額(兆円)	191	246	231	61	82

政府系運用機関は巨額資産を運用する一方、災害時のバックアップ体制は未整備のまま東京一極で管理されている
財務省外国為替特別会計決算に関する情報、GPIF年次レポート、ゆうちょ銀行決算説明資料、かんぽ生命有価証券報告書、日本生命決算資料 ※1 BCP拠点の所在地は非公開